

ダイキン滋賀の森

- ダイキン工業株式会社 -

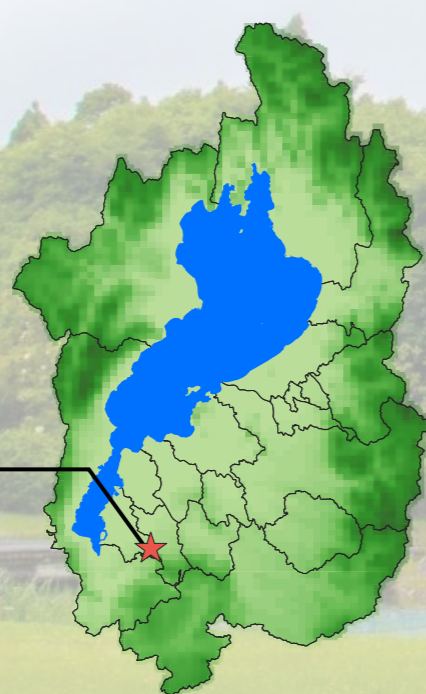
地域の動植物のオアシスとなることを目指して

「工場が出来る前の地域本来の里地・里山の再現」をコンセプトに、近隣地域産の在来種にこだわって保全活動を行っています。

場所: 滋賀県草津市

面積: 0.94ha

ダイキン滋賀の森



しが生物多様性取組認証
: 3つ星取得



サイト概要

「ダイキン滋賀の森」は滋賀県の南部、草津市の里山地域の中央に位置しています。池のゾーン、草地のゾーン、森のゾーン、水路のゾーンの4つのゾーンから構成されており、それぞれの環境に適した動植物が生息しています。

地域等との連携

本サイトを地域の子供達への環境教育の場としても活用しています。直近では、森で採取した実生(芽生えたばかりの植物)を小学校で半年間育ててもらい、環境教育の際に植樹する「実生の里帰り」や、池に棲むミナミメダカを小学5年生の理科の教材として提供する取り組みを実施しました。



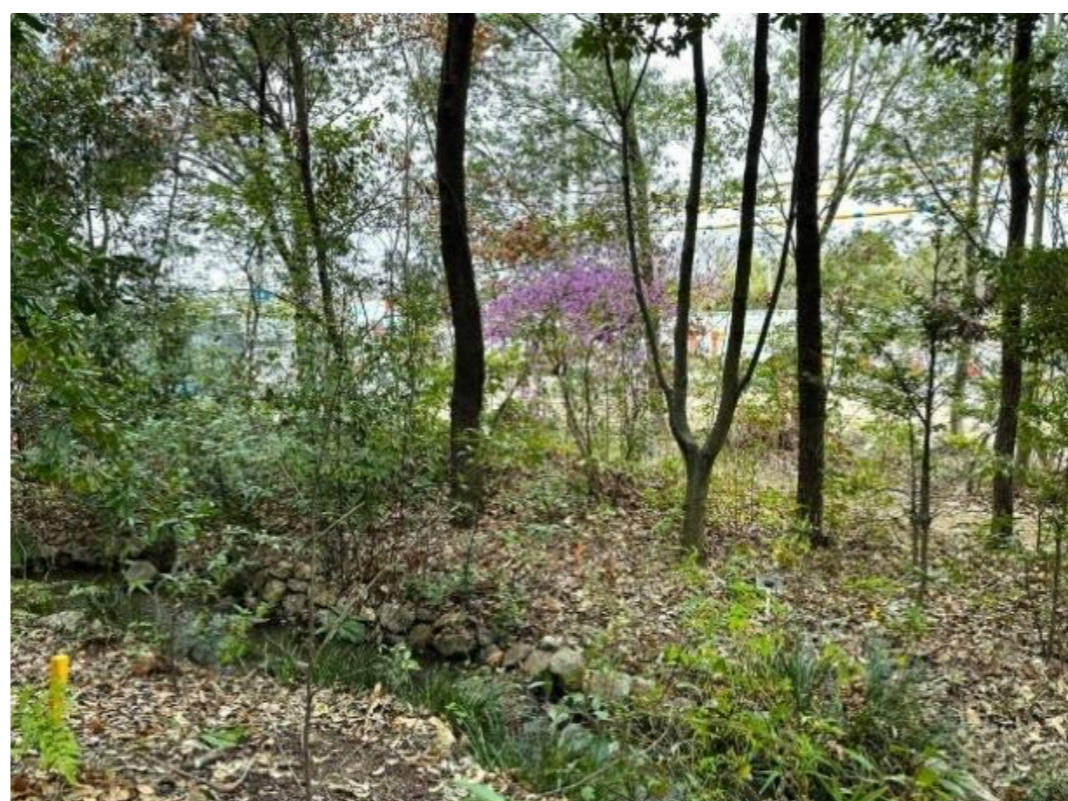
生物多様性の状況

専門家に年4回の生物モニタリング調査を委託しており、これまで植物241種(2023年度時点)、昆虫類231種(2022年度時点)、鳥類28種(2024年度)、水生生物21種(2021年度時点)が確認されました。

また、上田上地域から移入した絶滅危惧Ⅱ類のミナミメダカや、琵琶湖帰帆島から移入した準絶滅危惧種のトチカガミといった、希少な動植物の保護・増殖にも成功しています。

活動の内容

専門家の監修の下、従業員が主体となって継続的に保全活動を行っています。これまで、近隣地域から採取した草木を大きくなるまで育成し森に植える活動、在来種に配慮した環境の維持・改善、外来種の駆除活動などを実施しました。



ネイチャーポジティブに向けてのメッセージ

本サイトの周辺は、工場ができる前は里地・里山が広がっていましたが、80年代より開発が進み、緑地が急速に失われています。

「ダイキン滋賀の森」が地域の動植物のオアシスとなることで、周辺地域とのエコロジカル・ネットワーク(緑地や水辺のつながり)を形成し、地域の生物多様性を向上させます。



草津エコロジカル・ネットワーク構想 将来図
←→ : 緑の回廊 ←→ : 水の回廊

